

BALLキッズ編集社は、
NPO法人 マナビエル
～学びと思考の根っこラボ～
が企画運営する小学生向け
プロジェクト型スクールです。
こどもが自分らしい学び方を
見つける場づくりを提案します！

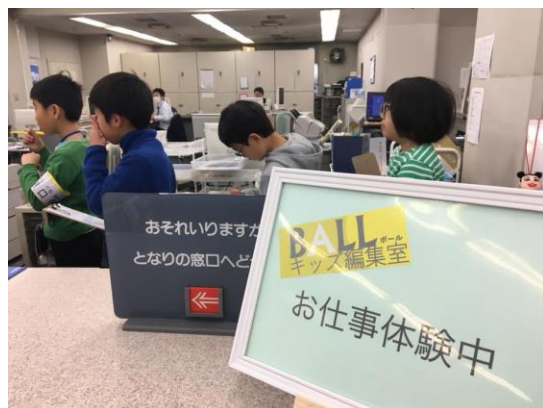
マナビエルホームページ
http://manabi-el.work/



2018春の緊急取材！ 第一勧業信用組合千田町支店 が生まれ変わるらしい！

BALLキッズ編集室の小学生取材班が
素直な視点で見た仕事体験記録！

2018年春休みに、BALL小学生取材班
による、お仕事体験が行われた。お邪魔
したのは、東京江東区にある第一勧業信
用組合千田町支店様。お札を数えたり、
ダイヤルをまわし金庫を開けたり…そん
なところまでいいの！？と思わず言っ
てしまいそうな初めてで想像を超える体験
の数々。隅から隅まで見て触って知った、
貴重な体験を記したBALL特別版！



今回、BALLキッズ編集室の
潜入取材にご協力いただいたのは…
**第一勧業信用組合
千田町支店様！**

「信用」ってなんですか？

BALLキッズ編集室の小学生
取材班が素直な疑問をぶつけた！

貴重な体験の先で、航志郎記者が最後に支店長に尋
ねた鋭い質問がこちら。思わずおお…と声が漏れた。

——「信用ってなんですか？」

そんな素直でストレートなキッズ記者の疑問に、
松丸支店長は丁寧に答えてくださった。「そうだね、この仕事は信用がないとで
きないね。信用とは ①うそをつかないこと、②約束を守ること。ここで働
いている私たちは、いつもそれを心に仕事をしているんだ。」キッズ取材記者の
メンバーたちは静かにうなずきながらメモをした。



「BALLキッズ編集室」は、ことばの表現プログラムBALLで学び、
地域と関わりながら情報誌の制作・発行を通して即実践。
伝える楽しさを知る、小学生のためのことばのコミュニケーション基地！

BALL ボール キッズ編集室

**2018
4月**
春の特別版

この日、職員の朝礼から
参加したキッズ記者たち

は、小学校の朝礼とは違うキリッとした雰囲気緊張の面持ち。そんな中でも「相手が
わかるように伝えていた、がんばろうと協力する気持ちを感じた。」という恭祐記者。
キッズ記者たちは、仕事体験に入る前に松丸支店長との名刺交換を終え、いよいよ開店。



ご案内係&窓口係になって「いらっしゃいませ！」



開店の合図はシャッターが開く音。地域のお客様がご来店され、キ
ッズ記者たちはご案内係としてお出迎えし、声をかけた。ある方は、
大量の小銭を持って窓口へ。なんと重い小銭の袋を持たせてもら
った記者たちは、落としそうになるほど。「銀行の窓口の仕事をする
には、野球をしている人がいいかもしれない。」と感じたのは樹陽記者。「なぜなら、
カラーボールを犯人に正確に当てられるだろうから。」防犯用のカラーボールがあるこ
とを教えてもらい、信用組合の防犯対策や日ごろの工夫をはじめて知ったそう。

今日から家でも練習する！ お金を数えてみた

束のお札を数える…そんな体験はなかなかない。この日、ひとりずつに渡
された札束。始めはたどたどしかった手つきも、練習するうちにあっとい
う間に数えるスピードが上がってきた。「二重飛びくらい難しい。でも、
数え方を詳しく教えてもらった。楽しい。もっと家で練習したい。」と言
う歩記者に「家にはないよ～」とお母さん。最後に1,000枚の束の重さ
も確認し、たくさんのお金を目の当たりにしてドキドキのまま次の仕事へ。



金庫を破った小学生たち！？

最後に待っていたスペシャルな仕事体験は、ナント金庫を開けるこ
と！ここには、お客様が個々に大切なモノを預ける貸金庫と、お店
の資料やお金などを厳重に保管しておく大きな金庫があった。キッ
ズ記者が開けたのは大きな金庫。まずはダイヤルを回すが、これが
また複雑なくみですぐには開けられない。注意力・集中力がある
金庫の鍵のしくみはすごい。普段は職員でも決まった役職の人しか
開けることはないという。緊張と集中の中、やっと鍵が開いた扉は
想像以上に分厚く重い。こどもたちの表情も終始真剣だった。

※移転前の店舗につき、貴重品がないことから特別に開錠の許可をいただきました。



文章の苦手意識がなくなる！
プロジェクト型スクール



住吉：東京都江東区住吉1-4-4
東高円寺：東京都杉並区和田3-50-9

2018年春
2校開講
生徒募集!!

お問い合わせ
ホームページ

BALLキッズ編集室住吉／担当 松田
http://www.ballkids.work/

03-6873-1406

BALLキッズ編集室 検索